

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-111577(P2007-111577A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-302502(P2005-302502)

【国際特許分類】

B 0 4 B 5/02 (2006.01)

【F I】

B 0 4 B 5/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロータボディの下半部に椀状のシェルを被着し、同ロータボディの上半部に着脱可能な鍋蓋状のロータカバーを被着して成る遠心分離機用ロータにおいて、
前記シェルと前記ロータカバーの端縁にテーパ面を設け、該シェルと該ロータカバーのテーパ面を、オーバーラップさせたことを特徴とする遠心分離機用ロータ。

【請求項 2】

前記ロータカバーの外周面に段部を形成し、該段部を境としてこれより上の部分を下の部分よりも小径としたことを特徴とする請求項 1 記載の遠心分離機用ロータ。

【請求項 3】

ロータボディの下半部に椀状のシェルを被着し、同ロータボディの上半部に着脱可能な鍋蓋状のロータカバーを被着して成るロータと、
該ロータをロータ室内で回転駆動する駆動手段と、
を備え、前記ロータに保持された試料用容器内の試料を遠心分離する遠心分離機において、
前記ロータのシェルと前記ロータカバーの端縁にテーパ面を設け、該シェルと該ロータカバーのテーパ面を、オーバーラップさせたことを特徴とする遠心分離機。

【請求項 4】

前記ロータカバーの外周面に段部を形成し、該段部を境としてこれより上の部分を下の部分よりも小径としたことを特徴とする請求項 3 記載の遠心分離機。